

～学校だより～

つながるころ ちからをあわせ はじけるえがお しあわせいっぱい



つちはし

そうだん ざつだん

相談？ 雑談？



かわさきしりつつちはししょうがっこうこうちよう やまもと なお
川崎市立土橋小学校校長 山本 直

教員になったばかりで携帯電話がまだ普及していない時代、年度の初めにはクラスごとに電話連絡網を配付していました。そこには担任の自宅電話番号も記載されていたため、保護者からの相談の電話は、夜に自宅にかかってくることもありました。18時過ぎにお風呂に入り、食事を終えて、さあプロ野球の巨人対阪神戦をテレビで見ようと思っているときに限って、自宅の電話が鳴ります。固定電話ですので、まずは母が出ます。そして「直、保護者の方から電話よ!」と、予想通りの展開となります。ドキドキしながら受話器を取るのですが、保護者の声は意外と軽いことが多く、「先生ごめんなさい、ちょっと気になることがあって、今日うちの子、宿題ないって言うんですけど本当ですか?」といった感じです。重大な問題でないかわかってほっとしながら「大丈夫ですよ、●●さんは学校で全部終わらせていたようです」と答え、さあ野球を見るぞと思うのですが、ここからが長くなります。「ところで先生、この前鷺沼駅にいませんでしたか?偶然私見かけたんですが、声をかけられなくて…。そういえば菅生に住んでらっしゃるんですね、私 マリアンナの病院によく行くんです…」と、雑談が始まります。まだ20代独身でずっと夜は暇だろうと思っているのか、雑談がどんどん続き、ついつい付き合わされてしまいます。長いときは1時間半から2時間近くということもありました。電話を切ると、野球はすでに終わっていて、その時は残念に思ったものですが、ひとつだけ良いこともありました。それは、雑談をしているうちに相手のことが少しわかるようになり、自分のことも理解してもらえらるということです。しかしながら、住所や電話番号は個人情報のものであり、現在は安易に伝えることはできません。ましてや働き方が問題になっているこの時代には、同じようなことは決してできませんが、だからこそ、限られた時間の中で、工夫して相談したり、雑談したりする場を作っていくことも大切なのかなと思っています。残念ながら上記のような雑談を勤務時間内に行うことは難しいですが、相談したいことがある際には、担任はもちろんのこと、支援教育Co やスクールカウンセラー、そして管理職でも構いませんので、ご連絡を頂ければと思います。

先日、川崎市教育委員会から、「家庭・地域・学校の良好な関係の維持・向上に向けて」としてメッセージが公表されました。家庭や地域と学校が尊重し合い、協力しながら一体となって教育活動を行うことが必要であるとした上で、学校以外にも相談できる場所があることや、教職員ができるだけ勤務時間内に対応できるようご協力をお願い等も記載されています。特に登下校、放課後の安全や SNS 上のトラブルに関しては保護者の方が責任を問われることにもなるため、日頃から家庭でもご指導いただければと思います。保護者も教職員も忙しい毎日を送っているところではありますが、協力して指導にあたるよう、雑談とまではいかないまでも、日頃から話しやすい関係づくりに努めたいと思っています。